

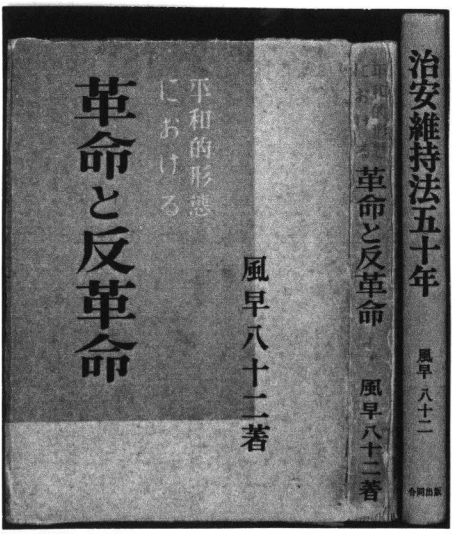
風早八十二（かそはや やまひちじ） 辯護士。明治二十二年八月十日（戶籍上は）二十四日（岡山縣都窪郡山手村生れ、平成元年六月十九日歿（一九九一―一九九九）。第二高等學校を經く、大正十一年東京帝國大學法學部卒。在學中新人會入會、十二年歐洲留學、昭和二年九州帝國大學教授と、五年の論又「治安維持法」が發給處分を受けて退職し、産業労働調査所、プロレタリア科學研究所の活動。八年檢擧、十一年出獄、十五年日本共產黨専長となる。二十四年衆議院議員、のち辯護士となり松川事件等も擔當。

譯書『コタルドの社會學原理』（大正十一年八月五日岩波書店）、『ツカリヤ著 『犯罪と刑罰』』（昭和十二年十一月一日、のち風早一葉共訳・二十四年九月）二十五日岩波書店「岩波文庫」）等。著書に、『野原六郎と民主革命』（羽仁五郎・野坂参二共著、昭和二十一年九月十五日岩波書店）、『平和的形態における革命と反革命』（昭和二十二年一月二十日ソヴェト文化社）、『闘争とエーマニスト―近代日本の革命的人間像』（他十一名合著・學生書房編集部編、昭和二十二年四月）二十五日、のち二十四年七月（二十一年）學生書房）、『政治犯の諸問題』（昭和二十二年十一月）二十日前進社）、

『現代文藝の批

判』（合著・思想

想の科學研究會編、昭和二十四年六月二十五日ヤカ



デメイア・プレス「思想の科學研究會選書」()、
可治女維持法五十年

(昭和五十一年十一月二日合同出版)等。